

各位



2021年6月22日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証第一部)

問合せ先：取締役 兼 グループ執行役員 植松崇夫

(TEL：03-5339-2109)

**特別利益の計上および2022年3月期第2四半期連結業績予想、
並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2022年3月期第2四半期連結会計期間に特別利益を計上する見通しであり、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想および通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社は、ビジネスチャットの『Chatwork』を開発・販売するChatwork株式会社（代表取締役 山本正喜、東証マザーズ4448、以下「Chatwork社」といいます。）との間で、当社グループの完全子会社であるスターティアレイズ株式会社（以下「スターティアレイズ」といいます。）のクラウドストレージ事業（以下「本事業」といいます。）を会社分割により新設会社を設立し、新設会社をChatwork社との合弁会社とするため、Chatwork社へ新設会社の一部株式を譲渡する契約並びに同社と株主間契約を締結することを決議いたしました。

具体的には、2021年7月1日（予定）にスターティアレイズが本事業の新設分割を行い、当社グループの完全子会社（Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社、以下「CST」といいます。）を設立し、同日、CSTの発行済株式の51.0%をスターティアレイズからChatwork社へ譲渡（以下「本株式譲渡」といいます。）を行うことを予定しています。

詳細は本日、当社ホームページ（<https://www.startiaholdings.com/ir/>）にて公表の「クラウドストレージ事業の会社分割による合弁会社設立に関するお知らせ」をご参照下さい。

本株式譲渡によって、第2四半期連結会計期間において関係会社株式売却益415百万円が特別利益に計上される見通しとなり、本事業が連結子会社の対象から外れ、CSTとして2021年7月1日より当社の持分法適用関連会社となります。

これにより、2022年3月期の通期の連結業績予想は、通期で連結売上高250百万円の減少を見込んでいる一方、営業利益及び経常利益につきましては現在精査中となります。また、特別利益415百万円の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は170百万円増加の見通しとなります。

2. 2022年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	7,200	△200	△200	△300	△30.28
今回発表実績	7,117	△200	△200	△130	△13.19
増減額	△83	0	0	170	
増減率	△1.2%	—	—	—	
前期実績	5,976	9	31	△15	△1.57

3. 2022年3月期の通期連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	15,000	150	150	△120	△12.11
今回発表実績	14,750	150	150	50	5.07
増減額	△250	0	0	170	
増減率	△1.7%	0.0	0.0	—	
前期実績	13,324	21	70	△130	△13.25

4. 修正の理由

上記、「1. 特別利益の計上について」に記載のとおりであります。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上